

老いを楽しむ家 デイサービス「さくら家」オープン

小規模デイサービス「さくら家」（遠藤孝子代表管理者）が、11月18日入江にオープンしました。

ケアマネジャーの遠藤孝子さんが、友人らと合同会社「一華」を設立し、2階建の一般住宅を借りて、日帰りの通所介護サービスを始めました。

スタッフは5人で、1人は看護師。

5年程前から親の介護を抱える知人同士で、施設開設の話となり、今回のオープンへとつながりました。

遠藤さんは「どこかに遊びに来た感じで、アットホームな雰囲気大切にしたい。介護している人にも来てもらい、いろんな話ができる場にしていきたい」と話しています。



笑顔あふれるスタッフと利用者の皆さん

クリスマス
マスを控えた
11月30日、
12月1日
の2日間
にわたって「2013
水の駅ク



クリスマスプレゼントを求めて賑うクリスマスフェア

クリスマスフェア」（洞爺まちづくり観光協会主催）がとうや水の駅で開かれ、親子連れやクリスマスプレゼントを求める人などで賑わいました。

町内や近郊からアートマーケット、体験コーナー、飲食コーナー合わせて40店が参加。

クリスマス雑貨、キャンドル、ポストカードなどクリスマスにちなんだ商品が、会場いっぱいに並べられました。訪れた人たちは、一つひとつかわいらしい雑貨を手に取りながら買い物を楽しんでいました。

一足早くクリスマス 水の駅クリスマスフェア開催

平成25年度
胆振管内
体育協会
連絡協議
会研修会
（洞爺湖
町体育協



トレーニング方法を学ぶ参加者ら

会等主催）が、11月30日ネイパル洞爺で開かれ、高校の部活動の指導者や高校生ら約120人が参加して、トレーニングの方法について学びました。

研修会は、東京農業大学生物産業学部の桜井智野風准教授を招き、講義と実技を行いました。

講義では、25の具体的なスポーツに関する事例を示しながら、トレーニングの常識を再考しました。

一方実技では、表面には見えない筋肉を意識したトレーニング方法「スタビライゼーション」について学びました。

トレーニングの常識を再考 体育指導者らの研修会

火山を知り、地球を知る 温中で地球環境の授業

火山の噴火や仕組みを学ぶ授業が、12月2日洞爺湖温泉中学校（村瀬雄三校長）で、全校生徒24人が参加して行われました。

総合的な学習「地球環境」の授業で、講師は、北海道大学大学院理学研究員吉本充宏理学博士。

有珠山の噴火履歴や噴火、火山の仕組みなどについて説明があり、黒曜石を加熱して軽石を作る実験では、火山での噴出物のでき方について学びました。

最後に吉本さんは「世界の火山についても知り、探究心を忘れず持続してほしい」と生徒に訴えました。



黒曜石を加熱する実験を行う中学生

まちのわだい

